

2020年度 学校評価表

九州国際大学付属高等学校

一、学校運営基本方針

校訓	清く 明るく 逞しく
教育目標	平和で民主的な社会の形成者としての必要な資質を備えた、知・徳・体のバランスのとれた生徒を育成する
目指す学校像	一、生徒の夢と目標を実現できる進学校 一、他を思いやる豊かな心を育む学校 一、文武両道を実践する学校 一、時代をリードする国際性を育てる学校
目指す生徒像	一、高い知性と確かな学力を持つ生徒 一、社会の一員としての礼儀、マナーを身につけた生徒 一、心身ともに健やかで逞しい生徒 一、深く考え、自ら行動する聡明な生徒
日々の実践	一、さわやかな笑顔で挨拶を交わそう 一、礼節ある言葉づかいを心がけよう 一、服装を整え、生活マナーを大切にしよう
教育の特色	知・徳・体のバランスのとれた人間の育成を実現するために、「生活指導」「進路指導」「総合的な学習」の各次元からなる全人教育を行い、生徒一人ひとりの個性と能力を開発することで、生徒の夢を実現する。また、「生徒にとって最大の教育環境は教師自身である」をモットーに教員改革を一切の基本としていく。

令和3年度 年間教育活動目標

自走する生徒を育てる ICT教育活動の研究と実践

二、各部の年間基本方針と自己評価

総合評価：A

※評価基準： A:よくあてはまる/B:ややあてはまる / C:どちらともいえない
D:あまりあてはまらない / E:全くあてはまらない

<p>目標</p>	<p>【ICTを活用した情報管理及び教育の向上と定着】 ①年間指導計画の作成および共有 ②授業参観 および 授業参加 の活性化 (MetaMoji Classroom) ③出席管理の徹底(タブレットオプション) ④業務の簡略化 →便利ツール、スクールエイドの効率化、Classiの利用 ⑤定期考査ごとのクラス別分布表の作成 ⑥生徒の情報共有⇒年7回の生徒支援委員会の開催</p>					
<p>基本方針</p>	<p>具体的施策・目標</p>	<p>自己評価</p>				
<p>1. 授業時数の確保</p>	<p>授業の開始・終了時間の厳守(チャイムと同時に開始終了)</p>	<p>Ⓐ</p>	<p>B</p>	<p>C</p>	<p>D</p>	<p>E</p>
	<p>出張・年休・遅刻・早退の処理(時間割変更、振替、取得の推進)</p>	<p>Ⓐ</p>	<p>B</p>	<p>C</p>	<p>D</p>	<p>E</p>
<p>2. 授業の充実</p>	<p>他の教員の授業見学</p>	<p>A</p>	<p>Ⓑ</p>	<p>C</p>	<p>D</p>	<p>E</p>
	<p>研究授業の実施</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>Ⓒ</p>	<p>D</p>	<p>E</p>
	<p>教室内の整理・整頓</p>	<p>Ⓐ</p>	<p>B</p>	<p>C</p>	<p>D</p>	<p>E</p>
	<p>ICT機器・教材の利用</p>	<p>Ⓐ</p>	<p>B</p>	<p>C</p>	<p>D</p>	<p>E</p>
	<p>授業アンケートの活用</p>	<p>A</p>	<p>Ⓑ</p>	<p>C</p>	<p>D</p>	<p>E</p>
	<p>学外主催の研修への参加(オンライン研修を含む)</p>	<p>A</p>	<p>Ⓑ</p>	<p>C</p>	<p>D</p>	<p>E</p>
	<p>学内研修の実施</p>	<p>Ⓐ</p>	<p>B</p>	<p>C</p>	<p>D</p>	<p>E</p>
<p>3. シラバスの作成</p>	<p>各学年、クラス別の作成(難関・S/特進・準特進/進学)</p>	<p>A</p>	<p>Ⓑ</p>	<p>C</p>	<p>D</p>	<p>E</p>
<p>4. 試験問題の管理</p>	<p>問題の作成・提出(期限の厳守、管理)</p>	<p>Ⓐ</p>	<p>B</p>	<p>C</p>	<p>D</p>	<p>E</p>
	<p>試験時間の確立(5分前の着席、開始前の問題配布完了)</p>	<p>Ⓐ</p>	<p>B</p>	<p>C</p>	<p>D</p>	<p>E</p>
	<p>便利ツールによる度数分布表の作成及び結果の考察</p>	<p>Ⓐ</p>	<p>B</p>	<p>C</p>	<p>D</p>	<p>E</p>
<p>5. 生徒の出欠管理</p>	<p>タブレット出欠入力、教務手帳への正確な記入</p>	<p>Ⓐ</p>	<p>B</p>	<p>C</p>	<p>D</p>	<p>E</p>
	<p>生徒の欠席・遅刻等の減少化</p>	<p>A</p>	<p>Ⓑ</p>	<p>C</p>	<p>D</p>	<p>E</p>
<p>次年度への課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新テスト(共通テスト)2年目の実施となるために、各教科においては研究授業を実施し、教科内での指導方法の研究 ○ 教育活動における更なるICT機器の活用と研究 ○ 今後は教員間の更なる情報共有を図り、クラス間格差の0を目指す ○ 校務システム・ICT化にともない組織化・効率化を図っていく ○ 2022年度からの新学習指導要領による教育活動の研究 					

■生徒指導部

評価:B

指導部方針	①挨拶②頭髪服装③掃除(美化)④時間厳守							
基本方針	具体的施策・目標			自己評価				
1. 挨拶の励行	登下校時、来客、校外、自宅での挨拶の励行・習慣化			A	Ⓑ	C	D	E
2. 問題行動への適切な対応	確実な報告・連絡・相談			Ⓐ	B	C	D	E
	素早い対応			A	Ⓑ	C	D	E
	教科担当と担任の連携			A	Ⓑ	C	D	E
	家庭との連携・連絡			Ⓐ	B	C	D	E
	日頃のHRでの生徒指導			A	B	Ⓒ	D	E
	学年集会等での生徒指導			A	B	C	Ⓓ	E
	処分者・違反者の減少化			A	B	Ⓒ	D	E
3. 自転車通学の安全指導	いじめアンケートの実施・対応			Ⓐ	B	C	D	E
	安全教育指導の実施			A	Ⓑ	C	D	E
	事故件数の減少化			A	B	Ⓒ	D	E
4. 登下校指導での安全確保	許可申請・管理・保健加入の推進			Ⓐ	B	C	D	E
	週番割り当ての実施状況			A	Ⓑ	C	D	E
	笑顔での指導(明るく、厳しく、優しさのある声かけ)			A	Ⓑ	C	D	E
	教員から生徒に積極的に挨拶を行う			A	Ⓑ	C	D	E
	通学路の厳守・徹底			A	B	Ⓒ	D	E
5. 安全なスクールバスの運営	通学路周辺の清掃の実施			A	Ⓑ	C	D	E
	枝光駅とスペースワールド駅の選別の徹底			A	Ⓑ	C	D	E
	駅前での指導・安全な乗り降りの励行			Ⓐ	B	C	D	E
6. いじめアンケートの活用	学年別利用制限の励行			Ⓐ	B	C	D	E
	いじめアンケートの実施・把握・活用			Ⓐ	B	C	D	E
次年度への課題	いじめ事象の減少化			Ⓐ	B	C	D	E
	来年度も様々な場所での挨拶の徹底を継続していく。							

■進路指導部

評価:A

基本方針・目標	①生徒の進路目標の実現 ②国公立大学合格実績の質および数の向上 ③教員の進路指導技術の向上 ④コース主任制度の活用					
基本方針	具体的施策・目標			自己評価		
1. 生徒への進路情報の提供	進路ガイダンスの内容の充実	A	(B)	C	D	E
	校内進路行事(大学進学説明会・出前授業等)の充実	(A)	B	C	D	E
	外部の進路ガイダンスへの呼びかけ・参加	(A)	B	C	D	E
	LHRでの進路研究の推進	(A)	B	C	D	E
	進路指導室の活用の推進	(A)	B	C	D	E
	進路指導室の担当教員の徹底	(A)	B	C	D	E
2. 教員の指導力の向上	コース主任制度の活用(コース内の格差の縮小)	A	(B)	C	D	E
	教員の大学入試研究の推進	(A)	B	C	D	E
	外部研修(予備校主催等)への積極的参加	(A)	B	C	D	E
3. 夢橋の活用	HRでの自己マネージメントの管理・指導	(A)	B	C	D	E
次年度への課題	今までの進路行事に加え、さらにキャリアガイダンスを充実させる。 高校3年間の進路指導計画(キャリアプラン)を明確にする。 コロナ対応に追われた中で、最低限の進路指導は行えたと思うが、長引けば工夫を必要とする点も多い。コース主任制の活用がまだ不十分である。もっと活用して、進路指導を充実させたい。探究を本格的にスタートする。					